

国立職業リハビリテーションセンター 利用のご案内

平成30年6月



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

国立職業リハビリテーションセンター

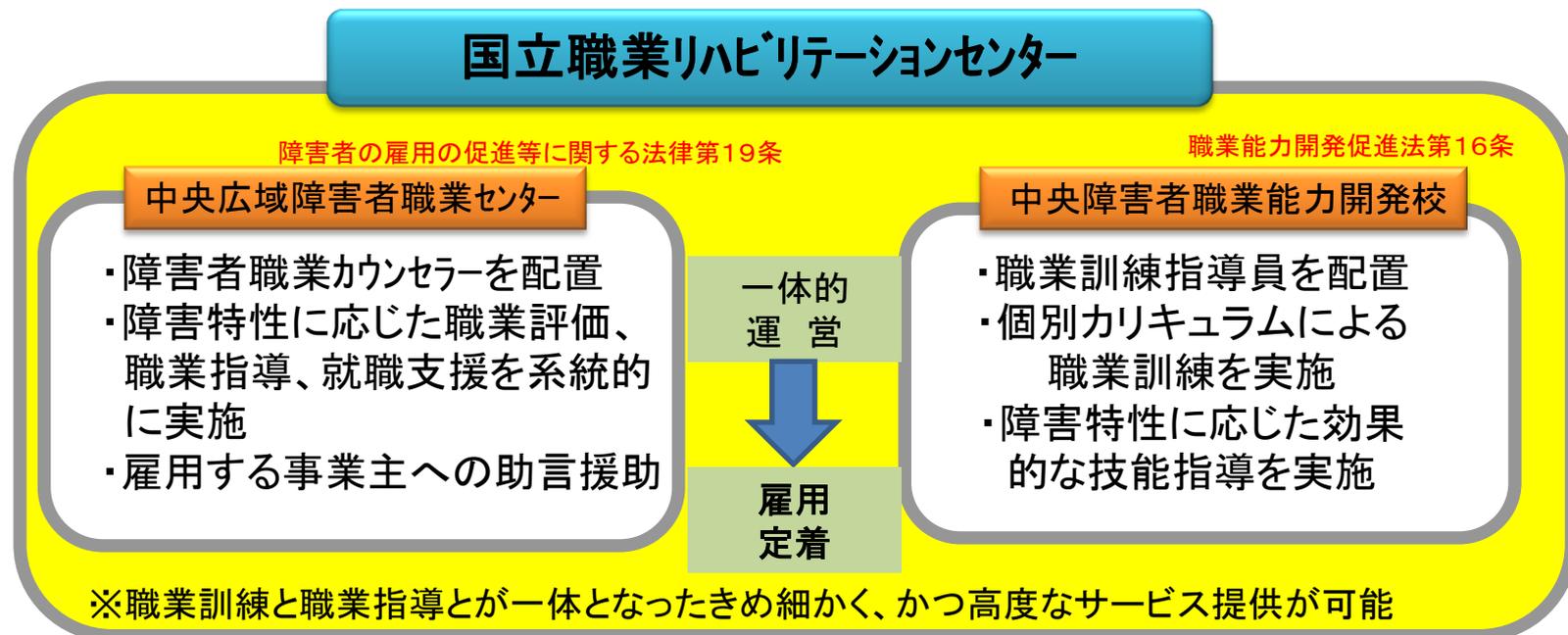
National Vocational Rehabilitation Center for Persons with Disabilities

1 国立職業リハビリテーションセンターの概要

● 設置・運営

昭和54年に労働省(現厚生労働省)により設置。(埼玉県所沢市)
法令に基づき独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営。

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 第4期中期目標(2018年度～2022年度)
国立職業リハビリテーションセンターは、「企業ニーズに的確に対応するとともに、障害者の職域拡大を念頭において、より就職に結びつく職業訓練の実施・指導技法等の開発に努めること。」



2 支援の概要・特長

就職が決定した場合は、入社日に合わせて、随時修了
(平成29年度は修了日を39回設定)

① 1年を通じた入所機会の設定等

- ・ 年間で14回の入所日を設定(身体障害5回、高次脳機能障害4回、精神障害3回、発達障害4回、知的障害2回)

② 障害特性、能力、適性等に合わせた個別支援の実施

○ 一人ひとりに合わせた個別のカリキュラムを作成

- ・ 適性検査、学力評価に加え、作業評価等の実施による綿密な職業評価を実施し、一人ひとりの障害特性、能力、適性等を把握
- ・ 精神障害者・発達障害者・高次脳機能障害者等については、導入訓練期間を設け、作業体験等により障害特性等の把握・自己理解の促進と補完方法の習得支援等を実施した上で、本訓練に移行

○ 障害者職業カウンセラーと障害者職業訓練指導員が連携して職業生活支援と職業訓練を実施

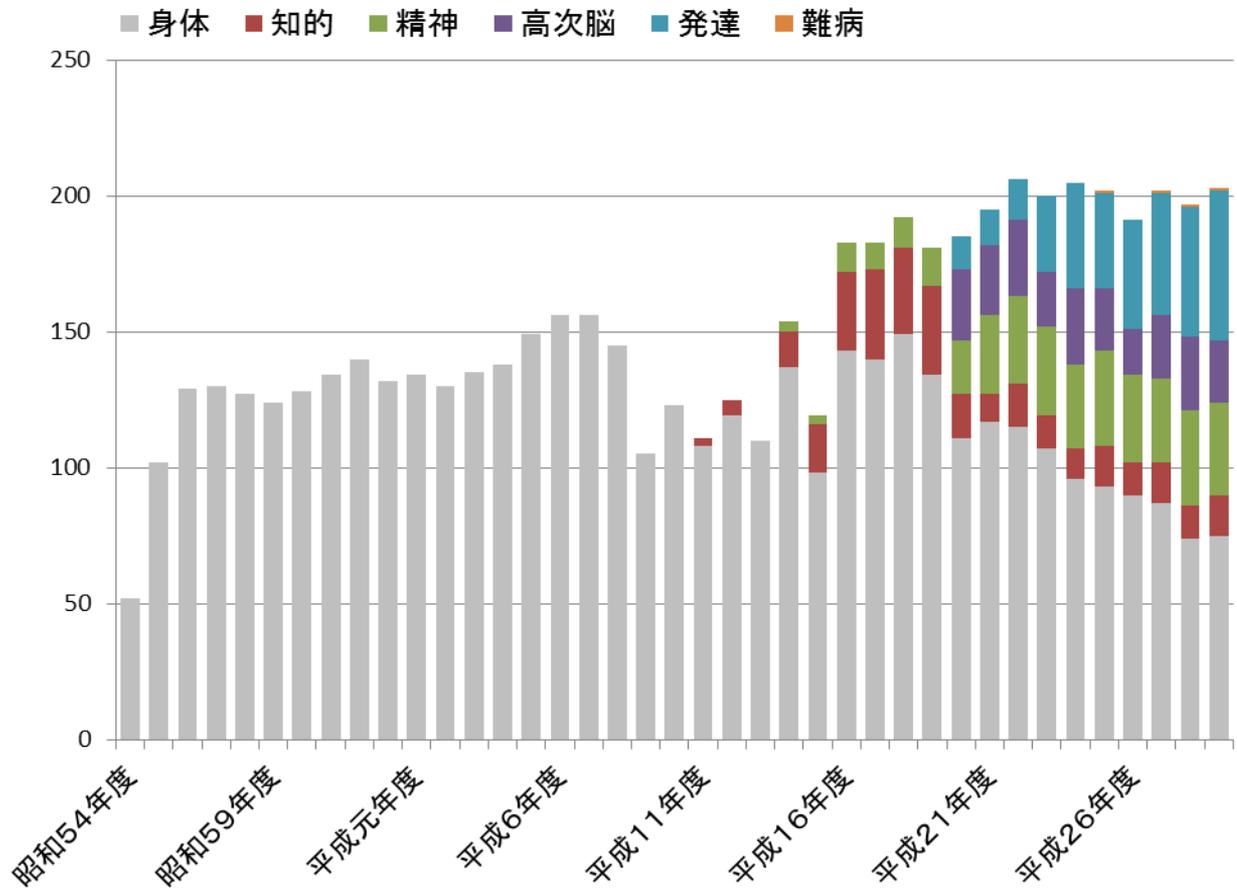
○ 就職先の仕事内容に合わせた企業連携職業訓練を実施

- ・ 異なる環境下では業務の円滑・的確な遂行が困難となる者、身体動作の制限が多く特別な機器・設備が必要となる者を対象
- ・ 採用の可能性のある企業の協力の下、採用された場合に必要となる能力を付与するための特注型の訓練メニューを作成し、施設内訓練と企業内訓練を実施

○ ビジネスマナーなどの習得に向けた支援

障害者雇用促進法の改正等に併せ全類型の障害者を受け入れ(政策ニーズへの対応)

国立職業リハビリテーションセンターにおける障害種別入所者数等の推移

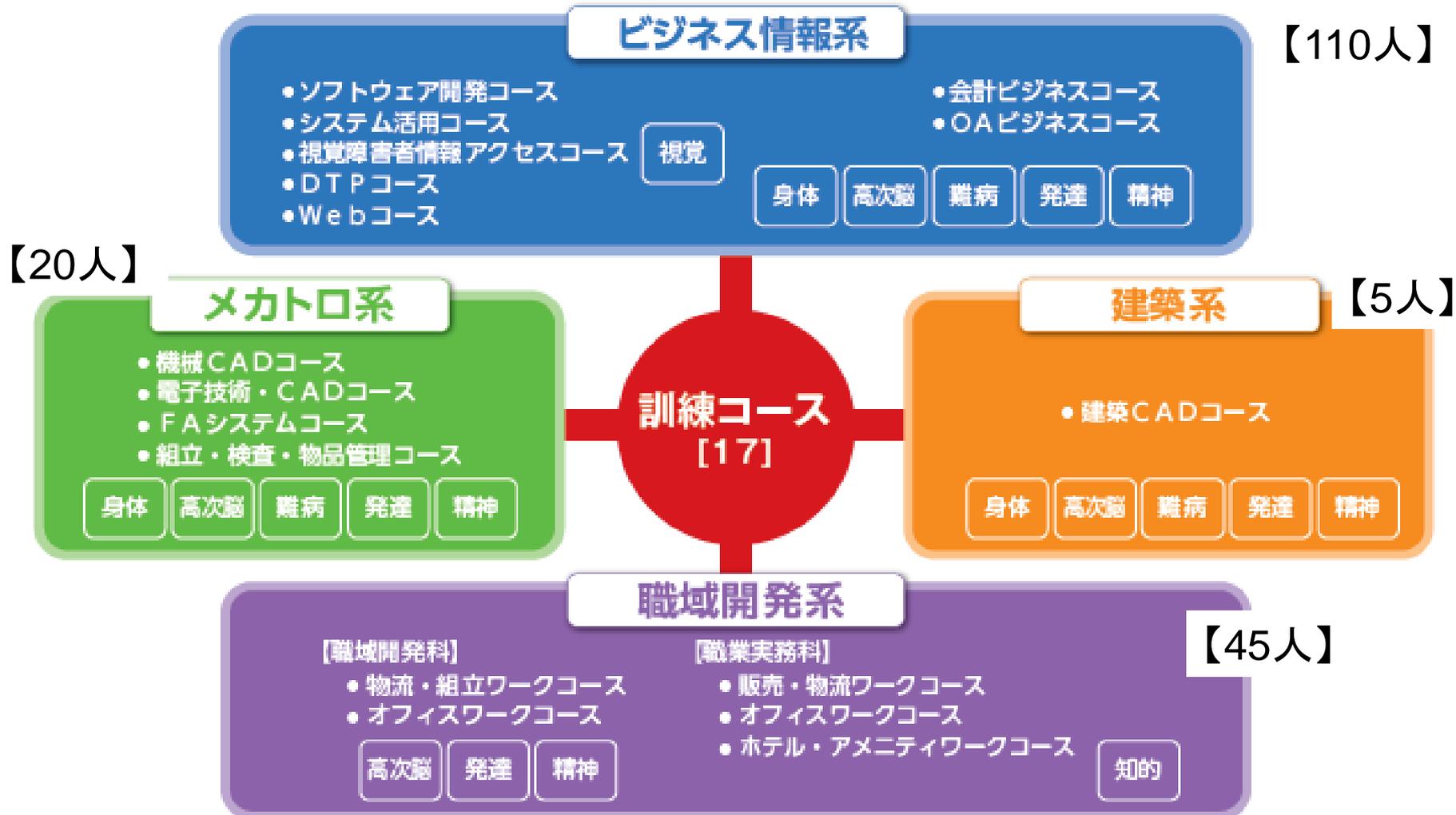


利用者像の変化 への対応

- ◎ 1年間の訓練受講実績 (通所実績)
- ◎ 有効な指導ノウハウの蓄積 (雇用管理・合理的配慮に対するサポート)
- ◎ 訓練での技能習得 (基本的な職務技能)
- ◎ 企業連携職業訓練 (職場での実践的能力の付与)
- ◎ 全国ネットの支援体制 (全国の地域障害者職業センター、ハローワークとの連携体制)
- ◎ 先導的な訓練技法等の開発提供 (他の職業能力開発校等へ普及)

※ 平成19年度までは所有する障害者手帳による分類、平成20年度からは主たる障害による分類

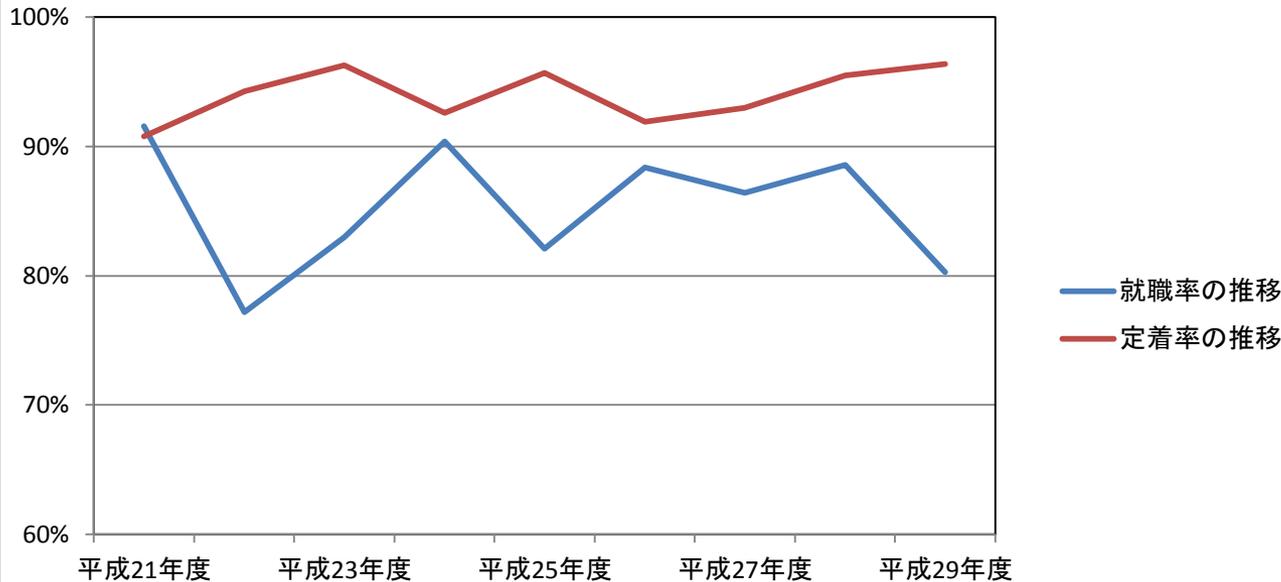
3 訓練系・コース一覧表



※ 訓練期間は基本1年間

各訓練科では、訓練の実施体制、機材の範囲で定員を超えても受入れ

訓練修了者の就職率と定着状況



※ 平成29年度の就職率はH30年4月末現在。定着率については平成29年10月までに修了した者の数値

◎半年後と1年後の修了生にアンケート調査実施



- 状況把握 + 直接的フォローアップ
(職場への連絡、訪問)
- + 支援機関との情報共有
(ネットワークによる支援)
- + 能開セミナーでのスキルアップ
(従業員キャリアアップ)
- + 事業主サービスへの展開

参考 訓練科別主な就職職種

訓練科	主な訓練内容	主な就職職種
機械製図科	機械加工、2次元CAD、3次元CAD	機械加工、機械設計補助
電子機器科	電子機器組立、電子CAD、電子制御	電子機器組立・検査
テクニカルオペレーション科	機械加工、電気制御 機械仕上げ、組立、配線、測定、部品管理、倉庫業務	電子・電気・機械組立、部品管理
建築設計科	建築設計、設備機器、2次元CAD、3次元CAD	CADオペレーター
DTP・Web技術科	DTPシステムを活用したチラシ、ポスター作製	印刷、出版、DTP関連業務
OAシステム科	情報セキュリティ、プログラムの設計・開発 情報セキュリティ、ネットワーク管理、Webページ作成 視覚障害者用アクセス機器・ソフトを活用したOA機器での事務処理	システム開発、プログラマ、システム管理、ネットワーク管理、一般事務、OA事務
経理事務科	簿記、税務、財務、販売、OA機器での事務処理	経理事務、総務事務、営業事務
OA事務科	事務、OA機器での事務処理	一般事務、総務・営業事務
職域開発科	物流作業、製品の組立、OA機器でのデータ入力、事務補助	物流、製造、製造補助 一般事務、事務補助、データ入力
職業実務科	物流作業、OA機器でのデータ入力、事務補助、清掃、食器洗淨	物流、商品管理、一般事務、事務補助、データ入力、ホテル、清掃業務、厨房関連業務

4 国立職業リハビリテーションセンターにおける事業主支援の活用方法

どのような訓練が行われているか現場を見たい

見学の申込み

- ※ 平成29年度は延べ139社の方に見学いただきました
- ※ 異動等で担当の方が変わる時などもお気軽に相談ください

どのような訓練生がいるか知りたい

ホームページに訓練生（訓練修了者と修了予定者）の情報を閲覧

- ※ 毎月2回（1日と15日頃）更新しております
- ※ 平成29年度は、約1万1千件のアクセスをいただきました

会社の説明を行い訓練生とも話がしてみたい

センター内での会社説明会実施の申込み ①

- ※ 平成29年度は延べ29社に実施いただき、それをきっかけに7名採用いただきました

訓練生の能力や適性を見たい

職場実習での受入れの相談

- ※ 平成29年度は延べ90社で受け入れていただき、それをきっかけに41名採用いただきました

採用を予定している職務内容に見合った訓練実施と職場環境の事前整備がしたい

企業連携職業訓練実施等の相談 ②

- ※ 平成29年度は延べ15社で実施していただき、13名採用いただきました
- ※ 職場実習と組み合わせた実施も可能です

訓練生からの応募を募りたい

求人票その他の書類をセンター内掲示等の申込み

在職者向け訓練

能力開発セミナーの相談、休職者職場復帰訓練 ③

① 会社説明会

○会場を職リハにして、訓練生を対象に会社概要や現在出ている求人、求める人物像等説明をいただく。

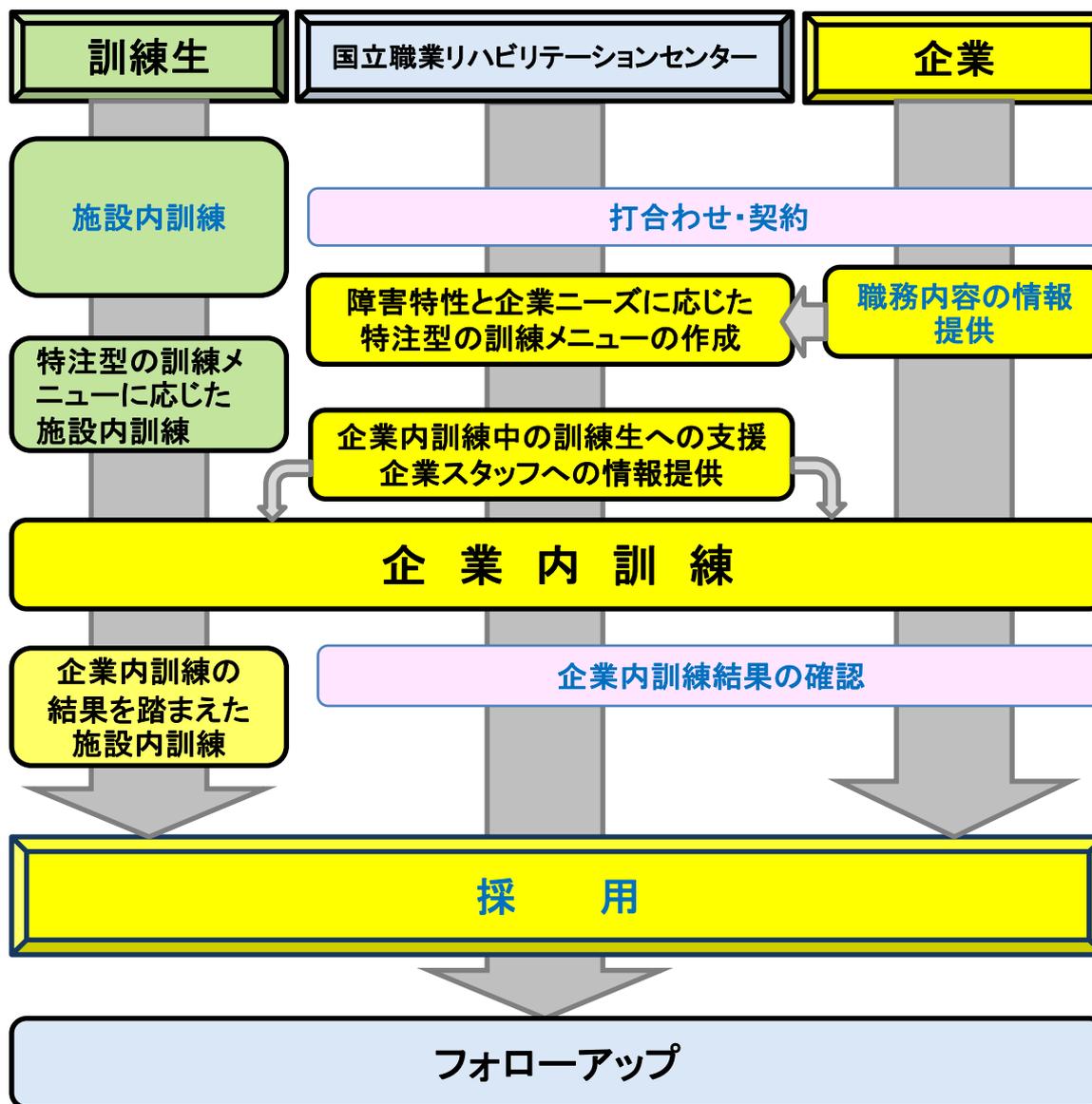
○採用面接場面では聞きにくい質問もでき、お互いにとってもメリットもあり。

- ・開催のご希望があれば、お気軽に電話でお問い合わせください。
- ・開催に当たって、訓練生に応募のイメージがわくように、求人票に準じる程度の条件(仕事内容、勤務時間、給与等)を示していただいております。

<参加いただいた企業の声>

- 訓練生と直接接することや訓練場面の様子を拝見でき、訓練生を採用した時のイメージ、自社で働く姿を思い描くことができました。
- 会社の概要の全体説明をした後、訓練生から多くの質問を受け、訓練生の熱心さが伝わりました。

② 企業連携職業訓練



【実施事例】 精神障害者男性

事務及び作業系の訓練を約10ヶ月受講後、飲食業関連事業所にて企業内訓練を実施

企業で使用しているデータ入力業務のフォームの提供を受け、センター内で事前に訓練を実施した後、企業においてデータ入力業務の企業内訓練を実施

期間中企業担当者へ勤務時間の調整や指示の出し方、休憩の取り方など、障害特性への配慮についての伝達支援を実施

【利用いただいた企業の声】 飲食関連事業所

精神障害者の採用が初めてで当初心配な点が多くあったが、しっかりとした指導員のフォローもあり、施設に戻っての再訓練という仕組みもあって、安心して実施することができた

採用後、他の社員にパソコン操作の指導をするなど、障害に対する理解促進にも繋がり、安定した就業が継続できている

③ 在職者向けの職業訓練

休職者職場復帰訓練

受障により休職中の方が復職するに当たり、必要な知識、技能を習得するための職業訓練

- ・ 設置している訓練科で受講
- ・ 訓練期間は6か月（復職日により修了を早めることも可能）

お問い合わせ先：職業指導部職業評価課 TEL 04-2995-1201

能力開発セミナー

在職中の障害者（採用内定者を含む）の職業能力の開発・向上のための職業訓練

- ・ 「表計算ソフト基礎」、「データベース基礎」、「給与計算と年末調整実務」等（平成29年度は32コースを設定、設定コース以外は応相談）
- ・ 少人数で実施
- ・ 2～4日程度の短期コース

お問い合わせ先：職業訓練部 TEL 04-2995-1713

5 その他のサービス

- ◆ 訓練生を採用いただく際、必要に応じて、支援機器やソフトの紹介・活用に関する助言等を行います。
- ◆ 地域障害者職業センターや各種支援機関との連携が必要な場合の連絡・調整を行います。
- ◆ ご採用いただいた修了生の職場定着に向けた相談・支援を行います。

どのようなことでも結構です。

お気軽に、当センターまでお問合せください。